

平成30年度

利用の手引き



神奈川県立

愛川ふれあいの村

〒243-0307 神奈川県愛甲郡愛川町半原3390番地

TEL 046-281-1611

FAX 046-281-3601

指定管理者：東急コミュニティー・国際自然大学校グループ 所管課：神奈川県教育委員会教育局支援教育部子ども教育支援課
東京都世田谷区用賀 4-10-1 TEL:03-5717-1001 神奈川県横浜市中区日本大通 33 TEL:045-210-8226

平成29年12月版

ごあいさつ

愛川ふれあいの村は、昭和47年7月『神奈川県立野外教育センター』として開所し、野外教育施設のさきがけとして、県内高校生の野外宿泊訓練、野外活動指導者養成が盛んに行われてきました。

平成5年には、『ふれあい教育』の拠点として“愛川ふれあいの村”と改名され、現在では小中学校の宿泊体験学習、高等学校の新入生オリエンテーション合宿やスポーツ少年団、地元企業や公共機関、ご家族の方まで多くの県民の皆様にご利用いただき、年間の利用者は13万人におよんでいます。

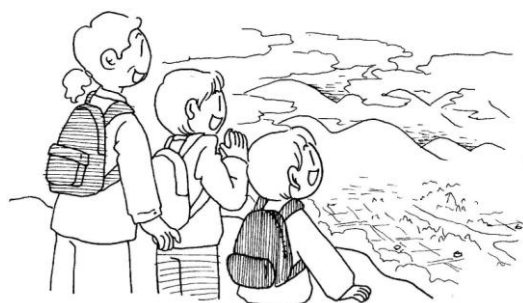
元々、段々畑だった敷地には、76種類1400本の苗木が植えられましたが、今ではみごとな巨木になり、桜の花の咲く頃や紅葉シーズンには素晴らしい景観になります。また、海拔220mなのにシラカバの木が90本もあるのはたいへん珍しい風景です。

さらに、この森には、多くの野鳥やムササビの生息も確認され観察することもできます。

このような恵まれた自然環境の中で様々な体験活動を通して自然の素晴らしさを感じながら仲間と協力、協調を育むのに最適な施設です。

施設の南側には軽登山に最適な高取山(705m)、仏果山(747m)があり、天気の良い日には山頂から相模湾や東京スカイツリーを一望することができます。また、古くから「燃糸の町」だった半原地区らしい織物や染め物を体験できるレインボープラザ、日本最大級の重量式ダム宮ヶ瀬ダムや水とエネルギー館、服部牧場、メガソーラー発電所など、幼児から高齢者の方までが楽しみながら体験学習ができる施設が数多くあります。

豊かな自然環境の中で、自然体験活動やスポーツ活動など、人と自然のふれあいを通じて生きる力を養い、利用者の皆さまの目的を達成するためにいろいろな支援を行う施設としてご活動いただけますようお願いいたします。



愛川ふれあいの村

目次

I 施設全体図（村内マップ）	1
II 利用について	
①利用対象・利用目的など	2
②申し込みから入村前日までの流れ	3～4
③入村当日の流れ	5
④活動時間の注意点	6
⑤退村日の流れ	7～8
⑥利用にあたってのお願い・禁止事項	9
⑦利用に関する料金	10～12
⑧宿泊室の寝具について	13
⑨テントで宿泊する場合	14
⑩持ち物	15
⑪貸出物品一覧	16
⑫周辺施設等の紹介	17
III 各書類記入例	
①利用申込書	18
②活動計画書	18
③簡易宿所営業宿泊者名簿	19
④当日確認票	20
⑤保護者の同意書	20
⑥ロッジ確認シート	21
⑦活動場所点検カード	21
IV 安全対策	
①ケガ、病気に備えて	22
②近隣の病院等連絡先、不審者対策	23
③災害時の避難について	24
V 施設案内	
①ロッジ案内図	25
②管理棟案内図	26
③かわせみ棟案内図	27
④野外炊事場、テントサイト周辺案内図	28
⑤野外炊事場案内図	29
⑥バーベキュー場案内図	29
⑦キャンプファイヤー場案内図	30
⑧体育館案内図	31
⑨グラウンド案内図	32
VI 交通のご案内	
①公共交通機関によるアクセス	33
②車でのアクセス	34
③駐車場	34